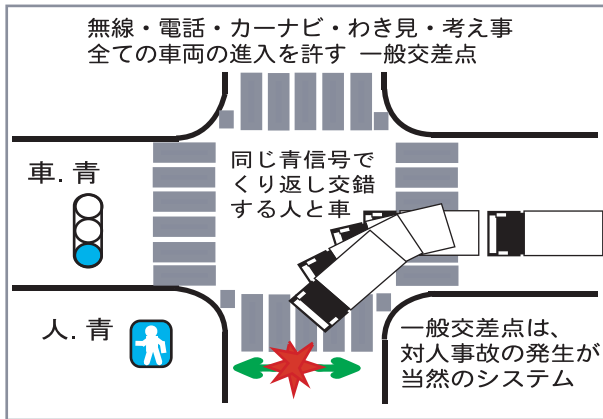
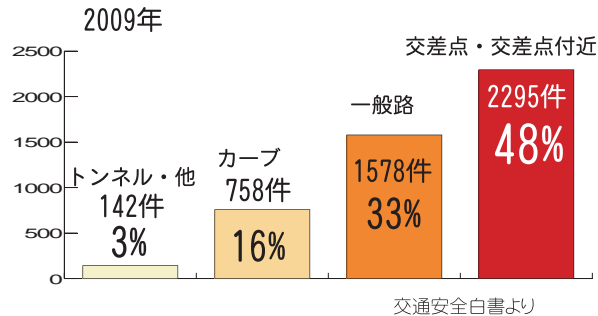


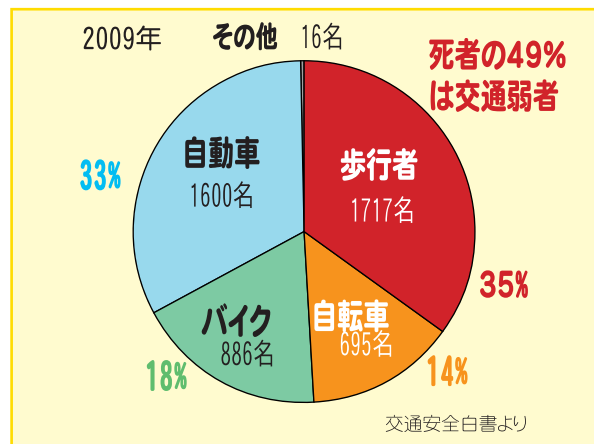
交差点は死亡事故の多発地点



道路形状別死亡事故発生件数



状態別死亡事故発生件数



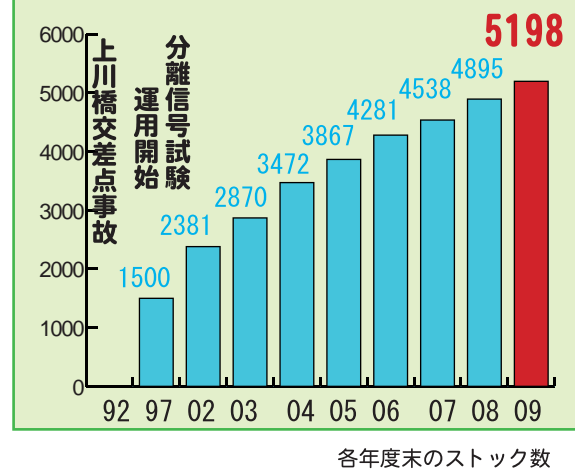
人に優しい信号システム

交差点を歩車分離信号に改善しよう



歩行者は、車から見落とされたら最後 【上川橋交差点事故調査より】

歩車分離信号 ストック数の推移



2010年3月末現在、歩車分離信号の数は、5198基。信号機全体の2.6%となりました。歩車分離信号は、人優先。安全・安心な歩行空間の象徴的なシステム。私たちは、歩車分離信号のさらなる普及促進を求めています

クルマ社会を
問い直す会

クルマ社会を問い直す会

URL<<http://toinaos.org/>>

E-mail<kstn@red.zero.jp>

FAX:020-4664-6084

歩車分離信号とは

歩車分離信号とは歩行者と車を分けて流し、お互いの交錯を無くす信号システムのことです。

日本では、交差点の青信号を横断中、右左折してくる車にはねられる歩行者事故があとを絶たしません。これは、現在の一般交差点が同方向の人と車を同じ青信号で流すために発生する現象で、歩行者の安全を右左折してくる不確実な人間の注意力（車両運転手）のみにたよる信号システムだからです。

歩車分離信号の交差点では、歩行者が青のとき車は赤、車が青のとき歩行者は赤。基本的に人と車は交錯しません。お互いが信号を守る限り対人事故が発生しない仕組みとなります。

クルマ社会を問い直す会